



平成20年 2月15日

8面	7面	6面	5面	4面	3面	2面
声・視点・ペンべん草	こどもの詩川柳・俳句・短歌	なかまたち・スポット	スポーツ・情報	町・埋蔵文化財	みんなで仲良く	松川町女性フオーラム
					公民館功労者表彰	公民館研究会
					スポーツクラブ啓発フオーラム	

# まつかわ百景

⑱

## 「池の平雪景色」

少雪の長期予報をとほ裏腹に連日の降雪で湖面がすっかり覆われる池の平



今年の福祉を考える集会では、『みんなで語ろう!! 地域の足』をテーマに取り上げました。  
今、限界集落という言葉が生まれ、少子高齢化が進み、当、松川町でも大きな問題になつてきています。

## 主張

### 第26回福祉を考える集會

であることも事実です。  
集会の中では、基調説明として、①松川町の新しい公共交通の構想②要介護者や障がいを持つ方のための移送サービスの現状と課題について説明をいただき、事例発表として①子供の立場から②都会から松川町へ引越して来て思うこと③障がいを持つ立場から④送迎ボランティアの立場からの発表があります。今年も意見シートに、発表を聞いた感想や意見を書き込んでもらい話し合いの中で利用させていただき

しかし、高齢者、障がいを持つ方、子供、運転免許を持たない方などは、日常生活の中で移動が自由にならない状況を抱えています。  
全国各地で赤字路線の廃止や、公共交通の再編が進む中、現在、松川町でも、子供から高齢者まで総合的にサポートする新しい公共交通システムの検討が進められている一方で、公共交通のみでは全ての方の需要に答えられない状況

しかし、高齢者、障がいを持つ方、子供、運転免許を持たない方などは、日常生活の中で移動が自由にならない状況を抱えています。  
全国各地で赤字路線の廃止や、公共交通の再編が進む中、現在、松川町でも、子供から高齢者まで総合的にサポートする新しい公共交通システムの検討が進められている一方で、公共交通のみでは全ての方の需要に答えられない状況

しかし、高齢者、障がいを持つ方、子供、運転免許を持たない方などは、日常生活の中で移動が自由にならない状況を抱えています。  
全国各地で赤字路線の廃止や、公共交通の再編が進む中、現在、松川町でも、子供から高齢者まで総合的にサポートする新しい公共交通システムの検討が進められている一方で、公共交通のみでは全ての方の需要に答えられない状況

いろいろな立場の方からの意見、そして、自分のこと、近所のこと、これからの世の中どの様に変わっていくのかを考え、地球を守っていくにはどうすればよいか、いろんなアイデアも出てくるかもしれません。限界集落を作らない地域作りを、みんなで作っていきましょう。  
福祉を考える会運営委員長  
水野一昭

## 第45回松川町公民館研究集会

# 「子どもを育む・地域活動を考える」

～健康な心と身体づくりの食育活動～



元気いっぱい「もぐもぐ隊」の皆さん

基調講演では、飯田市鼎公民館食育サークル「もぐもぐ隊」のみなさんから食育についてのお話を聞いた。はじめに、バランスの良い食事の話として『子どもたちにも分かりやすく』と考えられた人形劇があった。【まごわやさしい十こ】を合言葉にしたバランスの良い食事として：  
ま〓豆類、豆腐や納豆など  
こ〓ごま、ごま油  
わ〓わかめなど海藻類

### 基調講演

1月27日(日)松川町中央公民館と町民体育館を会場に第45回松川町公民館研究集会が社会部の成人講座と共催で開催され、関係各団体や一般町民の皆さんが底冷えのするなか熱い意見交換を行った。

や〓野菜  
さ〓魚  
し〓しいたけなどのキノコ類  
い〓イモ類  
こ〓米  
を取り入れると良いと紹介があった。また、ペットボトルのジュース1本を砂糖に換算すると、一日に摂取してよい糖分を超えてしまうという話もあった。

続いて、もぐもぐ隊の活動内容や、その中からわかってきたことなどが発表された。

もぐもぐ隊は、実際に子どもを持つ主婦の皆さんの集まりで自分の子供だけでなく全ての子供に良い食事をしてもらいたいと食育活動をしている。健全な体に健全な精神が宿る「食歴」は人間に表れると訴える。子どもたちには、「食べ物を選ぶ能力」「元気が体がる能力」「料理をする能力」「食べ物の育ちを知る能力」「味がわかる能力」の5つを身につけて欲しいという。また、食事を改善することで、うつ病などの心の病も回復するという話の例も挙げられた。

最後に、親が食育できるようにならなければならないが、最初から100ではなく、10から

でも20からでも、できるところから始めようと呼びかけた。

「現場からの報告」として松川中学校から、実際に生徒に行った血液検査や食事のアンケート結果の発表があった。

昨年度の検査では180人中100人の生徒が数値が高く再検査を行ったところ、今年度は再検査の人数が減少したようだ。しかし、成人病から生活習慣病と名前が変わっている今、実際に中学生にもメタボリックシンドロームの予備軍が多いこと、やせていても高血糖である生徒が多いことが現状だと発表された。

その原因として、食事内容だけでなく、朝食は食べない、



スクリーンを使って中学校現場報告

### 現場からの報告

一人で食事する人が増えているなど、家庭での食事環境も影響しているとのこと。

中学校ではこの結果を踏まえ、まずは「早寝・早起き・朝ごはん」運動に取り組み改善を目指している。

今年には参加者を12の分散会にわけて、「食育」について話し合った。

基調講演、中学校教育現場からの報告を受けて多くの分散会から「中学生の血液検査の数値の悪さにびっくりした」「中学校の検査を受けて食生活を見直すようになった」「もぐもぐ隊は、行政指導ではなく、自主的に勉強をはじめたところ、活動しているところが凄い」といった感想が上げられ、「中学の生徒100人以上が再検査という現状。家、学校、地域から食育を進め強化していくことが必要」「もぐもぐ隊のように地域社会みんなで協力して食育をしていかなければならない」等意見がだされた。

地域社会における食育のあり方については「各地区に親子会のようなサークルはあるが、活動自体は子どもの手の

### 分散会

離れた親が主体となっており、小さな子供を持つている親が活動していかないのが問題」「町のスポーツ団体への食育指導をする事ができるのではないか」「今後も公民館で食育を取り上げるべき」といった意見が多くだされた。

8つの地区公民館ごとにかれ基調講演の感想や分散会で話し合ったことを出し合った。このままではとても心配で社会、家庭環境、食生活を變えていかなければいけない。まず親が危機感をつけていくことが必要だという意見が出された。

そのためにも地区館では食育についての事業を設ける。堅いイメージのようなものでもぐもぐ隊のように興味が持てる事業にし、親子も地域の人も皆で考えていく。

講師の要請など地区館ではできないことや手薄になってしまふこともあるので本館と連携し、公民館だけでなく学校、行政、地域とも協力して取り組んでいきたいと今後の地区館としての役割を話し合うことができた。

### 地区公民館討議

1月27日、公民館研究集会において、18人の方が公民館功労者として表彰されました。表彰者は次の方々です。



大下 晃久さん



松下 正敏さん



三宅 源一さん



宮崎 正勝さん



鎌倉 昌弘さん



松下 謙司さん



家苗 浩さん



矢澤 敬寿さん



井澤 弘幸さん



北林 正文さん



宮下 仁さん



金山 秀和さん



松尾 正幸さん



宮澤由美子さん



宮下 雅史さん



林 秀弘さん



湯沢めぐみさん

前上新井地区公民館  
主事 林 良明さんも  
この度表彰されました。



生活の中にスポーツを豊かに取り入れ、年齢や体力、目的に応じて誰でもいつでもどこでも、スポーツに親しみ楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指して：1月19日(土)町民体育館トレーニングルームにて開催されたフォーラムには、町内の各種スポーツ団体関係者らが集まり、2人の講師の話に熱心に聞き入っていた。

**総合型クラブでの可能性とその育成について**

講師：白倉香理氏

講師の白倉香理氏は、総合型スポーツクラブ北信越ブロック地方企画班員として富山県の広域スポーツセンター運営に関わっている。

まず松川町の現状について。町の体育協会には18種目1750名が参加している、また公民館活動が盛んであり、健康・福祉に対する関心も強いという分析がなされた。



白倉 香理氏

毎年、体育の日に発表されるデータによると近年子ども体格は向上したが、体力は低下してきている。

。社会現象の変化と共に子どもも大人もスポーツや体を動かす機会が減少、また地域住民同士の交流も希薄化している。少子高齢化の進展とともに日本の、この地域の未来に暗い影を落としかねない実態。

総合型スポーツクラブとは様々な世代が多種目のスポーツを一環指導のもと実施することができ、受益者負担による自主運営のク

〈文部科学省委託事業〉  
**平成19年度総合地域スポーツクラブ育成推進事業**  
**総合型地域スポーツクラブ啓発フォーラム**  
**「スポーツを通じた健康な町づくり」**

**身近な地域のスポーツ環境を整える**

講師：白井良臣氏

クラブである。地域に現存するスポーツ資源(人材・用具・資金・発想・時間・文化)を活用する。すでに行われている富山県の実例についてもビデオにて紹介された。

白井良臣氏は安曇野ほりがね総合型地域スポーツクラブ設立準備



白井 良臣氏

委員長、合併前の堀金村時代より地域住民のスポーツを見守ってきた。

かつて堀金では、地域対抗スポーツ大会の種目は野球・ソフト・バレー・ゲートボールなどの競技性の強いスポーツが主で限られた人しか参加できない環境にあった。平成12年度からはスポーツが得意でない人、気軽に大人も子どもも参加できる軽スポーツ種目を選び大会を開催することに。こうして、総合型スポーツクラブ設立への道は始まった。道のりは平坦ではなかったが「最初から重くしないで、軽く考え、やれる人でこじんまりと削りはじめた。地域の仲間励ましや、「スポーツって遊びなんだから」気軽に楽しめる」って環境がもつとあつたら、誰でもが自由に参加できて、気持ちのいい汗流せるのにな」：参加者の素直な感想に勇気付けられたという。白井氏のコメントを交えた軽妙な語り口に、会場も和やかムードに。

住民とスポーツの関わり、今後について改めて考えさせられるフォーラムとなった。

**平成19年度松川町女性フォーラム**  
 (集まって、語り合って、手をつなごう)  
**「紫式部からのメッセージ」**

1月19日(土)松川町資料館視聴覚室において平成19年度松川町女性フォーラムが開催された。演題は紫式部からのメッセージ。講師は紫式部について50年に渡って語り続けていらつしやる上田女性史研究会代表の宮島満里子先生。

世界最古の長編恋愛小説として有名な「源氏物語」を違った視点からみてみたら、紫式部が女性という立場から伝えたかった事がわかってくるかもしれない、と前置きされ興味深い内容の「源氏物語」の話が始められた。

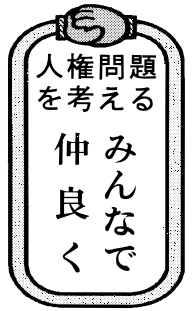
：覗き見・誘拐・拉致・監禁！など。現代なら犯罪として処罰されて当然のことが身分の高い者には許されていたというから驚きである。又、そういう運命の女性たちも、聡明な女は怒りや嫉妬を表に出すものではない、という事を言われて自分の感情を押し殺していたという。男は女の気持ちには構うことなく充分な生活をさせているから幸福だろうと考えていたようだ。

光源氏とは個人の名ではなく源氏の男子で光り輝くように美しく立派である、というほめ言葉として使われたそうだ。そんな地位も美貌も兼ね備えた光源氏の周りには絶えることなく女性の姿があり、「源氏物語を読んだ事がなくても何人かの名前を挙げることができるくらい有名な話

紫式部は「源氏物語」で描かれる男女の恋模様を通して女としての様々な思いを表現しているのがわかる。男女共同参画が言われる今、男性と女性の立場関係は「源氏物語」の頃と千年の時を経て、どの様に変わってきたのか……。一時間半の講演の最後まで張りのある声で話された82歳の宮島先生に紫式部の姿が見えた気がした。



宮島 満里子氏



命

松川中1年5組 大澤祐太

命は一つしかないんです。もつと大切にしてください。小中学生の自殺や人が人の命を奪ってしまうニュースが報道されます。なんでだろう。生きてくても生きられない人も生きる為ががんばっている人もいます。僕も頑張つて生きています。僕は生まれてすぐと小学校入学前の2回、手術をしました。手術をしないと生きる事ができないと言われたそうです。生まれてすぐの記憶はありませんが、一生懸命生きようと頑張つていたら、後で教えてもらいました。2回目の時は、「なんで僕が。」

「なんで僕ばかり痛くてつらい思いをするの?」と思います。でも、今の僕がいるのは命を助けてくれた病院の先生や家族、友達がいるからだと思います。だから、どんな嫌なつらい事があっても負けないで、信頼できる友達とか家族、学校の先生に話してみてください。きっと誰か助けてくれます。人間は、みんなに支えられ、そして支え

たり助けられたりして生きていくんだと思えます。つらくても頑張つて生きましよう。もつと命を大切にしましよう。

いじめについて思うこと

松川中2年2組 松本梨紗子

いじめを減らすためには、まず、いじめられている子を守つてあげる。それが一番だと思います。友達は一生の宝物と言いますが、本当にその通りだと思います。私も友達がいるから、毎日笑つていら

れるし、友達がいるから学校に行くのが楽しいです。だからいじめられてる子も、側にいてくれる友達がいればきつと大丈夫なんじゃないかと思

います。そして、もしいじめにあつたら、すぐ親や先生に頼るのではなく、まず自分たちで仲直りしてこそ、本当の友達になれると思います。それ

に、もつと強い自分に気づけるんじゃないかと思

います。いじめは立派な犯罪です。いじめを減らして明るい未来を。

前島章良さんの講演をお聴きして

松川中3年3組 中島愛里

毎日、前島さんのお子さんのように自ら命を絶つてしま

う人は沢山います。それこそ、いじめを苦しめて死んで

しまう人だつて、少なくないはず

です。でもそういうことが起こつて当然のことと、

ニュースで報道されても驚かなくなつてきた私たちがいる

のも事実です。命の大切さというのはいつでも近くにあるもので、だからこそそれを私

人権教育の学習を通して

松川中3年3組 宮下ふき子

人権教育の学習を通して、私は思った事があります。それは、今まで差別を撤廃するにはたくさんの人達のがんばりがあつた、という事です。

今、社会での差別という事が昔に比べて少ないのはこの人たちのがんばりがあつたから

です。本当に感謝しなくてはいい

ません。今の日本は「人権」という

ものをとても大切にしています。でも外国ではまだまだ生

まれながらの差別など根強く残つて

いる所があります。一刻も早く世界から差別が

なくなつていくように私も努力して

いきたいと思います。

松川町の文化財

(346) 埋蔵文化財 (244)

松川町の中世城館跡

大島城 (10) — 大島城普請の恩賞と河野郷窪田氏 —

教育委員会 酒井幸則

武田信玄の命により、秋山信友が下伊那19の郷民と2衆を動員して大島城を修築した時、河野郷の番匠(大工)が武田氏から賜つたという恩賞の写しが伝えられています。

大島城対岸の河野郷は武田氏の御料所(直轄領)でした。

史料によると、この大工職窪田長右衛門は大島城普請の

功勞として、天正2年、7年、8年の三回にわたつて恩賞を

受けています。

天正7年のものは奉者が原隼人佑ですが、実は隼人佑は

天正3年の長篠の戦で戦死していることや、天正8年の奉

者は石野新藏・朝日千助で、この両名は徳川家康の家臣で

あること等から、この二通は元亀2年の大島城普請に關す

るものとしては疑わしいものです。天正2年の奉者は跡部

大炊助ですが、大炊助は勝頼の側近であることや、修築後

3年ほど後の恩賞であることからこれも疑問です。ただこ

の一通だけは「龍の御印あり」



大島城普請恩賞の写し (豊丘歴史民俗資料館蔵)

河野郷の窪田一族は、当時名のある大工であつたことは確かです。阿島安養寺再興(天文22年)、松尾嶋田八幡宮普請(永祿11年)、上飯田白山寺御宝殿再興(文祿元年)他に従事したことが史料に残っています。

大島城普請の功勞に対する恩賞の真偽は別としても、この時期の名工である河野郷の窪田一族が大島城普請にあたり力量を発揮したことは十分に想像されます。

**冬将軍に負けるな！**  
**スポーツへの情熱で**  
**春まで乗り切れ！**

**生東地区ソフト  
バレーボール大会**

生東地区ソフトバレーボール大会が1月20日（日）に開催されました。

結果は次の通りです。

- 優勝 J A
- 準優勝 ホクシン
- 3 位 中山三

**第22回自治会対抗  
バドミントン大会**

平成19年度第22回自治会対抗バドミントン大会が、1月20日（日）に町民体育館で開催されました。

結果は次の通りです。

- 種目 混合ダブルス団体
- 優勝 城北B
- 準優勝 チーム大沢
- 3 位 福与

**上片桐地区公民館冬季  
スポーツ大会「綱引き」**

上片桐地区公民館冬季スポーツ大会「綱引き」が2月

3日（日）に北小学校で開催されました。

結果は次の通りです。

男子の部

- 優勝 諏訪形
- 準優勝 大栢
- 3 位 大沢北部

女子の部

- 優勝 大沢北部
- 準優勝 中荒町
- 3 位 上町

**平成19年度  
ソフトボール  
各リーグ結果**

平成19年度松川町

夜間ソフトボールリーグ

Aリーグ（町営グラウンド）

- 第1位 名子原A
- 第2位 堤原バズーカ
- 第3位 名南
- 第4位 清一
- 第5位 城北A
- 第6位 南方クラブ
- 第7位 宗源原
- 第8位 東浦

Bリーグ（生田グラウンド）

- 第9位 広小路
- 第10位 名北
- 第11位 上町SBC
- 第12位 大栢
- 第1位 古町北部
- 第2位 桑西クラブ
- 第3位 増野
- 第4位 樫原
- 第5位 清二
- 第6位 大島
- 第7位 宮本
- 第8位 福与
- 第9位 名子原クラブ
- 第10位 諏訪形
- 第11位 馬坂SBC
- 第12位 原田A

Cリーグ（総合グラウンド）

- 第1位 北垣外クラブ
- 第2位 鶴部
- 第3位 松川
- 第4位 桑園クラブ
- 第5位 部奈
- 第6位 滝ノ沢
- 第7位 町谷
- 第8位 大沢北部SBC
- 第9位 城北B
- 第10位 中山SBC
- 第11位 新井北部
- 第12位 中央

平成19年度松川町

OBソフトボールリーグ

平成19年度松川町OBソフ

トボールリーグの結果は次の通りです。

- 第1位 大島
- 第2位 上片桐OB
- 第3位 名子OB
- 第4位 上新井
- 第5位 古町

**平成19年度松川町  
壮年ソフトボールリーグ**

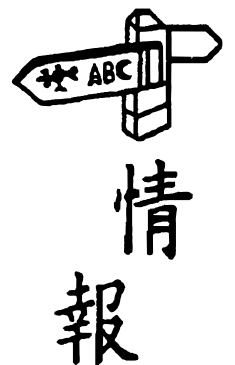
平成19年度松川町壮年ソフトボールリーグの前・後通算順位は次の通りです。

- 第1位 城山クラブ
- 第2位 スターキング
- 第3位 上片桐球友
- 第4位 鉄人28号
- 第5位 上新井クラブ
- 第6位 台城クラブ

**平成19年度松川町  
シニアボールリーグ**

平成19年度松川町シニアボールリーグの結果は次の通りです。

- 優勝 名子
- 準優勝 天竜
- 第3位 上新井
- 第4位 上大島
- 第5位 上片桐
- 第6位 古希



**本館行事**

〈街頭あいさつ運動〉

日時 3月3日（月）

午前7時～8時

場所 町内各所・学校周辺

〈家族で遊ぼう〉

（第1回）

期日 3月4日（火）

会場 町民体育館

内容 リトミック&ゲーム

（第2回）

期日 3月18日（火）

午前10時から

会場 中央公民館大会議室

内容 閉講式・お茶会

**地区館行事**

上大島地区公民館

〈クラブ発表と文化芸能祭〉

期日 3月1・2・3日

（土・日・月）

# なまかな

## 精神統一 弓道

松川弓友会



静けさの中、雪が残る弓道場にスパーンと弓を射る音が弾きわたります。松川弓友会は6つの地区からなり、現在31名。普段は個人や地区ごとで練習し、下伊那の大会が毎

週行われ第4日曜に松川を会場に月例会が行われています。

他に新年射会、各神社奉納射会などに参加されているということ。『ねりんピック』という高齢者大会では県代表として全国大会に出場された選手も多数いらつしやるとか。

弓道は礼に始まり礼に終わる精神、作法にのっとり行う武道。弓・矢・鏃といった道具を使い28cm先の矢を放ちます。今行われた松川地区館対抗冬季弓道大会では個人戦と団体戦が行われ、的中数により順位が決められました。過激でなく高齢になっても

できることが弓道の魅力の一つで96歳の方もいらつしやいます。筋力を使うので健康にもよく、生涯スポーツではないかと話してくれました。バ

ランスをとることが難しいところ、基本ができて無心になり集中力があるとの中するそうです。

皆で話をしながら練習をするのも楽しみの一つで、大会や練習で集まった時はなごやかでとてもいい雰囲気とか。若い人たちがなかなか入ってこない、以前行っていた初心者教室も開いていきたこと。興味のある方は是非練習を見に行ってみてはいかがでしょう。

1月下旬、健康を考える集会・公民館研究活動が2週連続で行われました。共通した内容として、子どもたちの健康な心と

食育問題が話題となりました。

## すぽっと

### 三者が連携して

公民館長 松

村直彦

会育成会関係者等挨拶運動

子どもたちを取り巻く生活環境も随分と変わり、成長期に必要な不可欠な基本的生活習慣が乱れていることを憂慮する声が多く聞かれました。

様々な要因や対策が考えられますが、「それは家庭の問題だ。」「保育所や学校で何とかして欲しい。」とか「地域

や行政がしっかりと指導性を発揮して」と責任を転嫁しあうのではなく、三者が連携して、かけがえのない子どもたちを導いていかなければと考えま

## こころの詩

雪

北小2年 宮下友希

朝外を見ると雪がふついていた。外に出ると雨の音がした。いい音だ。きれいな音のしずくがポタンポタンとおちてきた。手をのばしてみると、雨のしずくがおちてきた。しずくを見ると雪みたい。きれいなしずくが雪に見えるとはふしぎだ。なんで自分は雪に見えるのか。なんで雨が雪に見えたのか。なんでだろうと自分はそのうのがすぎだった。

## 川柳

ネコケンカ 一家総出で

かけつける

ずれていく ベルトの穴に

危機覚え

上がりゆく ガソリン代に

青くなり

灯油切れ だれがゆくのか

にらみ合い

低気圧 明日の朝は

雪かきだ

## 俳句

蠟梅 那須野令子

山峡にせせらぎ聞けり牡丹鍋

冬晴れや名も知らぬ鳥群れており

山菜蕨の蓄ゆるゆるふくらみぬ

寒椿に心ゆだねる日なりけり

蠟梅の枝ゆらし小鳥の去りにけり

## 短歌

那須野守由様の

ご逝去を悼んで

鋤柄 郁夫

あらゆる芸術を愛され、研鑽を積まれ、透徹した理念をもつておられた那須野さん！

「あのなん…」と誰にも明るく接して下さった那須野さん！

「文学は…」「芸術こそ…」とその真髓を熟く語り語って下さった那須野さん！

ありがとう 那須野さん！

寒空に孤高の月は皓々と

師の旅立ちし嘆き鎮めて



### 町の古民具 ③⑨ 自動縄ない機

視点

2列に藁を差し込み、足踏みの動力で縄をなう機械。



# 声

## 寒けい古

萩原大輝

今年も、1月5日にけい古  
始めの寒けい古がありました。

じゅんび体そうをしてから、  
じょう山までランニングをし  
ました。じょう山に着く手前  
には、毎年いやになつちやう  
235だんもある階だんがありま  
す。今年もがんばって登りま  
した。最後の50段位がきつかつ

たけど、じょう山にとう着し  
た時は、「やったあー」と思  
いました。じょう山から学校  
とかが下に見えてとてもなが  
めが良かったです。全員でい  
つもの様に整列して、き本け  
い古を行いました。いつも以  
上に大きな声で気合いを入れ  
てやりました。外でやるけい

古も気持ちよかったです。帰つ  
てからは、毎年楽しみにして  
いるもちつきがありました。ほ  
くは、大人のきねにちよう戦  
したけど、重くてふらふらし  
ました。ついたおもちを、み

## 楽しかったスポーツフェスティバル

原田高 大

スポーツフェスティバルに  
行きました。お母さんにさそ  
われて行ったので、初めはな  
んとなくやっていただけで、  
やっているうちにだんだん楽  
しくなってきました。

特に楽しかったのは、ペタ  
ンクという競技でした。内容  
は、室内用の砲丸投げみたい  
で、まず黄色く小さなボール  
を投げて、チームごとに6個  
の赤青の球を投げて、黄色ボ  
ールが一番近いボールのチー  
ムが勝ちになります。1回目は  
コツがつかめなくて大差で負  
けたけれど、2回目以降はコ  
ツをつかんで圧勝をしました。

ワンバウンドバレーも楽し  
かったです。ワンバウンドバ  
レーは、だ円形のボールをワ  
ンバウンドさせて打つバレー  
ボールです。ぼくは球技は得  
意ではないけれど、このバ  
レーは割合い上手にできてう

んなでおしるこやきな粉で食  
べました。けい古の後だった  
のでとてもおいしかったです。  
今年も一年空手をがんばら  
うと思いました。押忍

れしかったです。

ボールの重心が中心にない  
ので、思わぬ方向に飛んでい  
たり、バウンドした時に変な  
方向に行ったりしたので、やっ  
ている人がおかしくて、やっ  
ている間じゅう笑いが絶えま  
せんでした。

今度機会があつたら、友達  
もさそって行きたいと思いま  
した。



どこへとんでく？

# 草

長野オリンピック開催からは  
や10年が経ちました。当時の感  
動シーンを集めたスベシャル番  
組が、各局で放映されましたが、  
私にはついこの間のことのよう  
に思えてなりません。でも  
も実際にはソルトレイクシ  
ティ、トリノと、その後すでに  
2つも開催されていたんですね。  
長野で特に鮮明な記憶として残っ  
ているのがジャンプ団体。原田  
選手の方がくると、自分が飛ぶ  
わけでもないのに緊張で体が硬  
直し、肩が凝つたのを覚えてい  
ます。逆転で金を取ってくれた  
とき、スポーツっていいもんだ、  
日本人でよかつたと心から思い  
ました。

宮下 徹

時代は確実に流れていました。

公民館報  
「まつかわ」  
第 532 号  
平成20年2月15日

発行所 松川町公民館  
責任者 松村直彦  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: ckouminkan@matsukawa-town.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷(株)